

Mizuho Daily Market Report

2023/8/7

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	142.67	141.76	▲0.82	+0.60
EUR	1.0947	1.1006	+0.0057	▲0.0010
AUD	0.6562	0.6570	+0.0019	▲0.0080
SGD	1.3424	1.3395	▲0.0015	+0.0079
CNY	7.1817	7.1729	+0.0032	+0.0244
MYR	4.5514	4.5540	▲0.0013	▲0.0010
THB	34.77	34.79	+0.14	+0.70
IDR	15176	15170	▲15	+75
PHP	55.75	55.75	+0.21	+0.85
INR	82.79	82.84	+0.11	+0.58

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.034%	▲14.1 bp	+8.3 bp
日本(10年)	0.649%	▲0.4 bp	+8.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.562%	▲4.3 bp	+7.0 bp
オーストラリア(5年)	3.919%	+10.3 bp	+4.7 bp
シンガポール(5年)	2.981%	+0.0 bp	▲2.4 bp
中国(5年)	2.427%	▲0.3 bp	▲1.8 bp
マレーシア(5年)	3.619%	+1.0 bp	+2.4 bp
タイ(5年)	2.359%	+0.0 bp	+0.0 bp
インドネシア(5年)	6.069%	+6.8 bp	+6.4 bp
フィリピン(5年)	6.321%	+11.9 bp	+15.7 bp
インド(5年)	7.174%	▲0.2 bp	+2.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	35,065.62	▲0.4%	▲1.1%
N225(日本)	32,192.75	+0.1%	▲1.7%
STOXX60(ユーロ圏)	4,332.91	+0.7%	▲3.0%
ASX(オーストラリア)	4,129.32	+0.5%	▲1.6%
FTSTI(シンガポール)	3,292.39	▲0.4%	▲2.3%
SSEC(中国)	3,288.08	+0.2%	+0.4%
KLSE(マレーシア)	1,445.21	+0.2%	▲0.4%
SETI(タイ)	1,530.46	+0.1%	▲0.8%
JKSE(インドネシア)	6,852.842	▲0.7%	▲0.7%
PSE(フィリピン)	6,450.84	▲1.9%	▲2.6%
SENSEX(インド)	65,721.25	+0.7%	▲0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.46	+0.4%	▲0.4%
金	1,942.91	+0.5%	▲0.8%
原油(WTI)	82.82	+1.6%	+2.8%
銅	8,523.25	▲0.6%	▲1.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	141.10	—	143.30
EUR/USD	1.0970	—	1.1060
AUD/USD	0.6510	—	0.6620
USD/SGD	1.3340	—	1.3420
USD/CNY	7.1480	—	7.1960
USD/MYR	4.5260	—	4.5660
USD/THB	34.10	—	34.75
USD/IDR	15040	—	15200
USD/PHP	55.20	—	55.90
USD/INR	82.45	—	82.85

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は142円台半ばの水準でオープン。みなし5・10日にあたり東京仲値にかけて堅調推移し、142円台後半まで上昇。東京仲値通過後は本邦機関投資家が大口の売りを出し続け、142円台前半まで下押し。しかし、142円台前半ではドル買いも旺盛で、売り買い拮抗。142円台半ばで欧州市場へ渡った。アジア通貨はまちまちの展開。米雇用統計の発表を控えて慎重なムードが広がった。

海外市場のドル円は142円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米7月非農業部門雇用者数変化指数は予想を下回った。しかし、平均時給の部分では予想を上回る伸びを見せ、米7月失業率も予想より低下し、強弱まちまちな内容となった。発表直後は乱高下するも、次第にドル売りが優勢となったことから軟調な展開となり、141円台半ばまで値を下げる。売り一巡後は小幅反発し、141円台後半まで戻した。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、141円台後半でクローズした。

【金利】

金利市場は中長期ゾーンで大きく金利低下となり、金利カーブはフラット化した。朝方に発表された7月雇用統計の内容は、雇用者数変化で予想を下回る数字となり、前回も下方修正された一方、失業率は3.5%に再び低下し、賃金も高止まりしていることから、引き続き、労働市場のひっ迫が確認される内容となった。このところ売り優勢が続いていた債券市場は、発表後買いが急速に強まり、金利は引けまで低下を続けた。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。先週末に公表された米7月雇用統計を受け、ドル売りが進展したものの、今週に米CPIの公表を控え、底堅く推移するものと思われる。サービス関連の鈍化が顕著に確認できるまでは、利上げ期待も完全に剥落はしないと思われ、底堅い展開になりそうだ。

【本日の予定】

(日本) 6月 景気動向指数(速)
(日本) 7月 日銀 主な意見
(アジア) 2Q インドネシア GDP
(アジア) 7月 インドネシア 対外純資産 / 外貨準備高
(アジア) 7月 シンガポール 外貨準備高
(アジア) 7月 タイ CPI
(アジア) 7月 タイ 消費者景気信頼感
(アジア) 7月 中国 外貨準備高
(欧州) 6月 独 鉱工業生産
(欧州) 8月 ユーロ圏 センティックス 投資家信頼感
(米国) 6月 消費者信用残高
(米国) ホウマンFRB理事講演
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。